

授業科目 言語聴覚障害診断学演習Ⅰ

【担当教員名】 山口 富一 他		対象学年	3	対象学科	言語
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 言語聴覚障害診断学で学んだ各種の評価・診断の理論と方法を演習形式により実施し、臨床場面で実際に実施できるようにする。また、病院、施設等を訪れ、臨床現場での診断技術を学ぶ。各言語聴覚障害の専門分野を含む評価・診断の理論と方法について演習を行なう。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 専門基礎科目と専門科目の理解を深める。 2. 臨床実習を補うための症例検討会参加、症例のVTR検討、対象者との臨床的かかわりの機会を体験する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	詳細は追って知らせる			1.2	講義、演習、臨地体験 研究会参加
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況と演習態度について総合的に評価する。			【履修上の留意点】		